

ふっこう訓練通信

令和8年9月／発行：葛飾区都市整備部都市計画課（担当：田上・齊藤・松本）／電話：03-5654-8382

新小岩北地区震災復興まちづくり訓練がはじまりました！

9月12日（土）に「新小岩北地区 震災復興まちづくり訓練 第1回訓練」を開催しました。

「震災復興まちづくり訓練」とは、新小岩北地区で被災した場合を想定し

「どのように住まいを再建するか」「どんなまちに復興していきたいか」

を地域の皆さんと区職員で話し合う訓練です。訓練を通して、震災時に地域の皆さんと葛飾区と一緒に復興を進めていくための手引きとなる

『新小岩北地区震災復興の進め方』をまとめる予定です。

この「ふっこう訓練通信」では、各回の訓練の様子をご紹介します。

当日の資料などは、区のホームページでご覧いただけます。

第1回訓練の様子


[トップページ](#) > [くらし・手続き](#) > [安心・安全](#) > [防災・国民保護](#) > [震災復興まちづくり訓練について](#)

今後の訓練スケジュール

会場：新小岩北地区センター1階ホール
時間：14時～16時30分

▶第2回訓練 令和8年10月10日（土）「被災後の住まいの復興を話し合おう」

▶第3回訓練 令和8年11月29日（日）「被災後の都市の復興を話し合おう」

▶第4回訓練 令和9年1月17日（日）「新小岩北地区震災復興の進め方」をまとめよう

※ 次回訓練からでもご参加いただけます。

ご興味がある方は、裏面案内よりお申込みください。

多くの方のご参加をお待ちしております。

※既にお申込みいただいた方は再度のお申込みは不要です。

どなたでも
ご参加いただけます！ホームページへの
アクセスは
こちらから

ガイダンスを実施しました！！

第1回訓練（令和8年9月12日）「復興について学ぶ」の概要

ガイダンスとなる第1回訓練では、地域の方々29名にご参加いただき、「事前復興まちづくりについて学ぶ」と題して、区より訓練概要の説明のほか、「首都直下地震のイメージ」や「被災者支援制度」について説明がありました。特別講演では、「事前復興の発端と想定地震の変遷」「能登の複合災害を踏まえた複眼的な復興計画の必要性」「阪神・淡路大震災後の神戸市の迅速な復興事例から学ぶ平時からのまちづくりの大切さ」「事前復興の重要性」について学びました。訓練の詳細は裏面をご覧ください。

第1回訓練の内容

- (1) 「都心南部直下地震による被害の様相について」 葛飾区 地域振興部 危機管理課
- (2) 復興のイメージづくり（DVD上映）
- (3) 講演「事前復興まちづくり訓練とは ～首都直下地震、どこよりも早く復興するために～」
東京都立大学 名誉教授 中林 一樹 氏
- (4) 今後の予定

(1)「都心南部直下地震による被害の様相について」葛飾区 地域振興部 危機管理課

- ・首都直下地震発生時の葛飾区の被害想定では、建物被害と死者数については能登半島地震での石川県全体の被害と同規模ですが、避難者数は4倍の約16万人となっています。自助・共助の対策が重要です。
- ・区内の耐震化率（戸数）は95%であるものの、区内約10万棟の建物のうち、約4千棟の建物が全壊、約1万2千棟の建物が半壊、5千棟を超える建物の焼失や、液状化の発生なども想定されています（※）。※首都直下地震等による東京の被害想定（令和4年5月東京都公表、都心南部直下地震の場合）。
- ・災害時に受けられる国や都、区の各種被災者支援制度は、原則「申請主義」となります。事前に制度の理解や周知を行うため、葛飾区では、被災後の各種支援制度をまとめた「被災者生活支援ガイドブック」を公表しています。

被災者生活支援
ガイドブックは
こちらから



(2) 講演「事前復興まちづくり訓練とは

～首都直下地震、どこよりも早く復興するために～

東京都立大学 名誉教授 中林 一樹 氏

●想定外の事態を前提に備え、個人の生活再建と地区の復興まちづくりを平時から事前に訓練しておくことで、発災時の復興を迅速に進めることができる

- ・能登半島地震では、津波で住民が避難しており初期消火ができず250棟も延焼しました。さらに仮設住宅の建設後に豪雨で床上浸水し「複合災害」となりました。これからは、地震の後、水害も起きるかもしれないという「被災後防災」の発想が必要です。
- ・令和8年熊本地震では、10年前の熊本地震で被災した多くの建物が再建したり耐震修復していたため、同じ震度7の地震でありながら建物被害は少なかったものの、停電と断水により体温を超える猛暑の熱波災害の中で厳しい生活を余儀なくされています。
- ・被災後に個人の復興（生活再建）と地区の復興まちづくりをどのように進めていくのかを被災後ではなく事前に想像し、考え、備え、準備することが重要です。この取り組みを事前復興といいます。
- ・阪神淡路大震災後の神戸市の復興をモデルに、東京で事前復興が始まり、葛飾区はそれを区民の皆さんとともに取り組む復興まちづくり訓練として、世界で初めて実施してきました。

講演の様子



●みなさんが訓練の中心です

「超高齢社会」や「人口減少社会」に向かう21世紀、さまざまな課題に対応した災害につよく迅速に復興できるまちづくりを「想像力」と「創造力」の2つのそうそう力で考えましょう。

想像による“事前復興”が、強靱な新小岩北地区を創造します。

参加申込シート（FAX 送信用） 葛飾区 都市整備部 都市計画課 宛 FAX：03-3697-1660

フリガナ
お名前

TEL
メールアドレス

住所 〒

※託児サービスをご希望の方のみご記入ください

お子様の人数

性別

年齢

WEBでお申込みの方はこちら



二次元コード
を読み込み、必須
事項にご回答く
ださい。

【申込締切】9/30（水）まで

※FAX 送付の方は必要事項をご記入のうえ、こちらの紙面をお送りください。
※収集した個人情報は本訓練以外の目的では使用いたしません。

当日は、事前に本訓練に申し込んだ方のお子様に関限り託児サービスをご利用いただけます。
託児サービスを希望する方は、お子様の「人数、性別、年齢」をご記入ください。（対象年齢0歳～10歳まで）
なお、託児サービスは「新小岩北地区センター1階 和室」で実施します。

※定員数には、限りがございます。定員に達した場合は、託児のお申込をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。